

おしゃべりたぬき学級（家庭教育学級）

中央公民館では、木更津第一中学校区にお住まいの小中学生のお子さんを持つ保護者対象に家庭教育学級を開催しています。木更津といたら「たぬき」 親として、家庭人として、一社会人としていろいろおしゃべりしたいね。ということで家庭教育学級の名前がつけられた「おしゃべりたぬき」

子育てについての情報交換をしたり物作りや社会見学をしたりしながら、皆さんと交流することができます。

今年度も募集と開催予定はありますが、残念ながら現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催は見合わせしています。そこで、今までの活動についてお知らせしていきたいと思います。ちょっと時間があつた時、読んでくださったらうれしく思います。また、興味を持ちましたら、中央公民館までご連絡ください。

（毎月1回 火曜日10：00～12：00）

2018年 活動内容

- ・開級（自己紹介・年間計画）
- ・子育て講座（子供に寄り添う子育て～父として思うこと～）
- ・移動教室（崎陽軒工場見学）
- ・作ってみよう。スノードーム（親子で仲良く物作り）
- ・子育て参加型講話（子供に寄り添う子育て）
- ・知得！ライフプラン（明るい未来に向けてのライフプラン）
- ・ピラティスで体の中からリフレッシュ！！
- ・防災について学ぼう（応急手当の方法と防災グッズ作り）
- ・無添加健康味噌作り
- ・日本の伝統文化にふれよう（茶道）
- ・閉級式

2019年 活動内容

- ・開級式（年間計画・ボードゲーム・カードゲーム）
- ・木更津西口歴史散歩（みち案内人のガイドによる）
- ・浴衣の着付けに挑戦（着付け教室の先生から学ぶ）
- ・調理実習（時短で栄養のある料理）
- ・子育て参加型講話（吐き出そう子育ての悩み、見つめよう自分の心）
- ・ボッチャ体験
- ・移動教室（アクアライン裏ツアー）
- ・子育て講座（宮崎駿のジブリの世界を例にして家庭教育を見直そう）
- ・アロマを使ってリップクリームとかかとクリームを作る）
- ・おいしいコーヒーの淹れ方（コーヒー専門店主に学ぶ）

2019年 第1回開級式・みんなと仲良くなろう

石井館長の挨拶で開級式が始まりました。館長は挨拶の中で社会館園長の子育てへの思いを紹介していました。その思いとは「失敗しても何度でも立ち上がる人にする。また、人間は信頼ができるものであり、人と人がつながる事が大切であること。」ということでした。そして、「地域で子供は育つ。地域で子供を育てる。だからこそ、お母さんたちが交流を深めると同時に輪が広がることが大切なのだ。」という話をされました。学級生の皆さんはうなずきながら聞いていましたが、これは家庭教育学級の大きな目的です。その話をもとに1年間の活動内容について話し合いました。たくさんの意見が出され、1年間の活動内容が決まりました。

そして、「ゆかいなさかな店主」を講師に「みんなと仲良くなろう」というテーマのもと、ボードゲームとカードゲームを行いました。順位がついたり勝ち負けはあったりするので、喜んだり悔しがったり、励ましあったりと楽しく交流を深めました。

木更津西口歴史散歩（6月11日）

あまり暑くならないうちに計画した歴史散歩。好天に恵まれ、旧中央公民館駐車場に集合。観光協会の「みち案内人」2人をガイドに歴史散歩に出発。

コースは～東岸寺～戸隠神社～山二商店～吾妻神社～平等院～成田不動～旧中央公民館
東岸寺には俳人小林一茶が詠んだという「藤棚やうしろ明かり草の花」の句碑が立っています。そんな有名な方が木更津に足を運んだと感動しました。ガイドの中に官軍方間諜となり、徳川義軍方に殺された三河屋仁吾喜平次の墓があるという話がありました。立派な墓でしたが、三河屋仁吾喜平次について勉強不足だなあと痛感しました。

東岸寺の隣には戸隠神社という小さな神社があります。正式には「戸隠大明神」といい、古墳跡ともいわれているそうです。普段通っている道で目にしていたのですが、由緒ある神社とは驚きでした。

郵便局を過ぎて仲片町のさかんだな通りにある山二商店は現在は閉店いますが、老舗の乾物屋さんでした。建物は江戸時代末期のもので国の登録有形文化財に指定されています。貫禄ある建物に感動しながら次に向かいました。

吾妻神社まで旧道を歩いていきました。神社近くには「江戸道」の道しるべが立っています。旧道を通ることも少なくなったうえに、車では見逃してしまいがちな歴史的な道標です。やはり、歩くということはその意味からも意義あることです。

さて、吾妻神社には区長さんと吾妻神社の総代の方が2名待っていてくださいました。神社を開けて見学と説明をしていただきました。由緒ある神社に興奮しました。境内にもたくさんの遺物があります。ゆっくりじっくりと見学したい神社です。



江戸道の道しるべまで戻り、江戸道を歩きました。途中、平等院で「小原庄助さんの墓」を見学。酒豪らしく、高さ 1m 程の墓石は徳利の形で上には杯をかたどった石が乗せられています。なぜ、福島県の民謡にもなっている庄助さんの墓があるのか、聞いて驚きました。これもガイドなしでは知ることができない話です。ほかにも木更津の歴史を伝える墓があります。歴史に関心ある方は見学してみるといいと思います。

最後の見学地は成田不動堂（新宿不動堂）。ここには「ぽっくり観音」や「ぼけよけ地蔵」があります。住職さんが気さくな方で中に上げてくださいました。御朱印も書いてくださるそうです。帰りにはお札をいただきました。

江戸道を歩いていくと木更津一小到突き当たります。そういえば、以前の木更津一小の校庭には公道がありました。その道を通って北から南に抜ける方もいらっしゃいました。

旧中央公民館から歩き始めて約 2 時間で歴史散歩を終了しました。近くに住んでいても知らないことが多く、驚いたり感心したりと有意義な時を過ごすことができました。